

# APAC会議レポート

2023年7月11日(火)に、国際会議「APAC会議」が開催され、その前後で関連団体や企業へ訪問しました。その内容をご報告します。



## ★APAC会議とは?

アジア・パシフィック地域のFPSBメンバー12組織からなる、FPSBの中の正式な会議体の1つ

## ★APAC会議の目的

- ①各国・地域におけるCFP®資格推進の取り組みの共有や協働するプログラムなどの可能性について討議する。
- ②各国・地域における課題やトレンドなどの情報共有を通じて、アジア・パシフィック地域におけるFP組織間の連携強化を図り、CFP®資格の評価向上を目指す。  
※今回は日本で開催したため、規制当局を招いて、日本のFPを巡る環境と規制当局の取り組みへの理解を深めていただきました。

## ★APAC会議を含む全体のプログラム

- 1日目** 7月10日(月) | 関連団体訪問(日本証券業協会、金融広報中央委員会)
- 2日目** 7月11日(火) | APAC会議、協会の各種施策説明・金融庁による講演
- 3日目** 7月12日(水) | 企業訪問[(株)ノースアイランド、(株)キャピタル・アセット・プランニング]

## 1日目 関連団体訪問

1日目は、FPSB新CEOのダンテ・デ・ゴリ氏がステークホルダー&グローバルパートナーシップ責任者であるスティーブン・ロトステイン氏とともに、日本証券業協会\*1と金融広報中央委員会\*2を訪問しました。

FPSBの国際的な機関との関わりや、今後の戦略などの紹介を通して、関連団体との連携強化を図りました。

\*1 FPSBはIOSCOのAMCC(協力会員諮問委員会)メンバーで、日本証券業協会は同組織の協力会員  
\*2 FPSBはOECD/INFEのアフィリエイトメンバーで、金融広報中央委員会の事務局がある日本銀行は同組織のFull Member

## 2日目 APAC会議・協会の施策説明ほか

2日目は、日本FP協会本部事務所でAPAC会議が開催されました。各国・地域における状況報告やCFP®認定者の動向などの情報共有が行われるとともに、シンガポール組織からは、金融機関との連携事例について紹介がなされました。

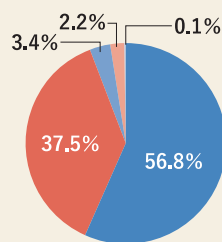


▲APAC会議の様子

続いて、協会の事業戦略、企業連携、実務能力支援、パーソナルファイナンス教育、行政連携などに関する施策の共有・説明を行いました。また、金融庁\*3の職員をお招きし、国民の資産形成支援に向けた政府の近年の取り組みに関して講演いただきました。

\*3 金融庁はOECD/INFEのFull Member

## 地域別CFP®認定者数の割合(2022年末)



■南北アメリカ ■アジア太平洋 ■ヨーロッパ ■アフリカ ■中東

## 3日目 企業訪問

3日目は、金融機関に広く導入されているFP関連アプリ・ソフトウェアを開発している認定教育機関2社にご協力いただき、(株)ノースアイランドと(株)キャピタル・アセット・プランニングを訪問しました。



▲ノースアイランド 嶋社長の講演



▲キャピタル・アセット・プランニング 北山社長の講演

すべてのプログラムにおいて、積極的な意見交換や質疑応答がなされ、海外組織や関連団体、規制当局との連携強化を図れた有意義な3日間となりました。

※FPSB(Financial Planning Standards Board Ltd.)は、CFP®資格を世界の生活者に一層信頼されるグローバル・ライセンスにするために2004年に発足した非営利組織(米国コロラド州デンバー)で、世界のCFP®商標権を所有・管理しています。日本FP協会を含めアジア・パシフィック地域の組織は、いずれもFPSBの加盟組織であり、各国・地域においてFPSBとのライセンス契約のもとCFP®資格の認定を行っています。